



土井遺跡

(ジオサイト23)糠森山頂からの風景

## 1万年前の風景に 思いを馳せる

恒例の行事、糠森登山が毎年元旦に行われています。平成24年の当日は快晴に恵まれて、八峰町の浜田から八森く峰浜の一部まで見渡すことができました(写真)。

糠森は地名「八森」の由来となつている8つの森の一つです。海面からの高さは208mで安山岩の溶岩からできています。昔は家畜用の干し草を作るための共同草刈り場として大切に使われていました。現在はテレビや通信電波の中継基地が設置されています。この基地作りの資材を運搬するため山頂まで運搬道が作られており、基地が出来上がった後は登山道として活用しています。

山頂からは八峰町の大部分を見ることができですが、この写真で注目してほしいことは画面の大部分を占める平らな地形です。この平らな平面を段丘面といいますが、そのほとんどが田畑として使用されています。

よく見るとこの段丘面は大きく湾曲したラインで区切られています。ラインの近くでみると、高い崖からできていることがわかります。この崖のことを段丘崖と言います。

ますが、浜田集落の東側に広がる水田の高さと本館集落に広がる水田の高さは崖を境にして大きく違っています。

段丘崖は海の波の力で岸が削られてきたものです。つまりこの崖ができた当時は海がここまで届いていたということになります。そしてこの崖が描く線は当時の海岸線となります。ということは浜田集落や古屋敷、八森などの集落はすべて海底になってしまいましたね。

では一体それはいつごろのことだったのでしょうか?このような現象はなにも八峰町だけの話ではなく、日本全体はもとより世界的に起こった現象だったことが分かっています。今からおおよそ1万年前のことでした。日本では縄文時代の草創期にあたり、石器を使用していたころに当たります。ただしその頃、ここに人が住んでいたかどうかは現在のところ明らかではありませんが土井遺跡近辺に住んでいたかも知れません。

八峰白神ジオパーク推進協議会

会長 工藤英美

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森

字ノケソリ116 旧岩館小学校内

TEL 0185-78-2427